

# おたる 西別院だより

季刊 第83号



## 年末年始の法要と行事

- 除 夜 会 12月31日(月) 15時 ----- 於 本堂
- 除 夜 の 鐘 12月31日(月) 23時50分 ----- 於 鐘楼堂
- 元 旦 会 1月1日(火) 6時30分 引き続き御流盃の儀 ----- 於 本堂
- 宗祖聖人御祥月法要 1月15日(火)・16日(水) 13時30分 ----- 於 本堂
- 新 年 交 礼 会 1月16日(水) 16時 ----- 於 ホール

12月29日(土)より1月6日(日)まで月忌参詣をお休みさせていただきます

# 年頭の辞

## 小樽別院輪番



輪番 大嶋 俊明

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。  
門信徒の皆様にはお健やかに新年をお  
迎えることとお慶び申し上げます。

私が小樽別院輪番を拝命いたしまして、  
一年が過ぎようとしております。思えば  
沖繩から一月一日に小樽別院へ着任した  
日、小樽の雪景色その気候に身の引き締  
まる思いでありました。また小樽別院仏  
教婦人会並びに小樽幼稚園創立百周年の

記念行事も予定されており、この新しく  
修復された大きな御本堂を満堂にしなけ  
ればという思いで昨年は精励努力させて  
いただきました。この行事に関しまして  
は、実行委員会の皆様方、また仏教婦人  
会の方々の努力なくしては勤まらなかつ  
たこととございます。

本願寺の八代蓮如上人は伝道のため全  
国を歩き回ってくださったそうでありま  
す。その際、履いていた草鞋がボロボロ  
になり足にくい込んでおなご、阿弥陀如  
来様のみ教えを、親鸞聖人のご苦勞を一  
人でも多くの人に伝えるのを使命とし、  
歩みを止めなかったこととございます。  
その迷いのない力強い生き方ならい、  
私も宗門の、そして別院の護持発展とご  
法義繁盛のために尽くしていくことを旨  
といたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

### 年忌表

二〇〇八年（平成二十年）

#### 法要についてのお願い

●法要をご予定の際には、日取りを事  
前に別院とご相談の上、お決めくだ  
さいますようお願い致します。

●別院にて年忌法要を、おつとめされる  
場合は、使用冥加金を申し受けます。

- 一 周 忌 — 平成十九年
- 三 回 忌 — 平成十八年
- 七 回 忌 — 平成十四年
- 十三回忌 — 平成八年
- 十七回忌 — 平成四年
- 二十五回忌 — 昭和五十九年
- 三十三回忌 — 昭和五十一年
- 五十回忌 — 昭和三十四年

# 平成十九年十月四日(木)・五日(金) 大谷範子総裁様ご臨席のもと本願寺小樽別院仏教婦人会創立百周年 並びに小樽幼稚園創立百周年の記念式典・祝賀会が開催されました

## ●十月四日(木)

記念式典の前日、小樽別院仏教婦人会と小樽幼稚園合同の創立百周年記念祝賀会が総裁様ご臨席のもと、小樽グランドホテルにて執り行われました。

この日は、午前中仏教壮年会会員が中心となって翌日の記念式典の準備を進める傍らで、昼前に実行委員らで空港に総裁様をお迎えにあげりました。

そうしているうちに、ホテルでも、総裁様のお出迎えのために職員がスタンバイ。午後五時半からの祝賀会にご来賓を含め別院・幼稚園から二百八十人が出席しました。

はじめに輪番の挨拶・杉本実行委員長の挨拶があり、祝宴での余興では二胡奏者の演奏及び総裁様と婦人会会員がステージに上がり二胡に合わせて一緒に合唱しました。また各テーブルに総裁様がいちごを添えてくださり和やかに祝賀会を終えることができました。

## ●十月五日(金)

本願寺小樽別院仏教婦人会創立百周年記念式典が、仏婦総連盟の大谷範子総裁様ご臨席のもと、小樽別院本堂で執り行われました。

当日は晴天に恵まれ、仏婦会員ら三百二十人が集まり、本堂は満堂となりました。

十時から大嶋輪番導師のもと、仏婦会員と小樽のコラスグループひまわりとによる音楽法要が勤まりました。

続く式典では、大嶋輪番と杉本仏婦会長の挨拶、総裁様のお言葉、表彰状授与、藤井教務所長及び高橋教区仏婦会長の祝辞をいただきました。

式典で総裁様は「親鸞聖人は、阿弥陀如来様が必ず救うとたてて下さったご本願をいただいて、昨日でもない、明日でもない、今日を生きるように教えてくださいます。朝、南無阿弥陀仏とお念仏申して、今日も大切にすごそうと

起き、南無阿弥陀仏とお念仏申して、今日の一日を有り難うと感謝のうちに夜休む、そんな一日を積み重ねてこそ、豊かな人生といえるのではないのでしょうか。会員の皆様は、行動ある聞法者として、この社会にさわやかな風を吹かせ、若い方々へ念仏者の生き方を伝えてくださることを念じます。」と今後ますますの期待を寄せてくださいました。

式典後に出口湛龍布教使より「すべてのいのち輝け」の講題でご法話をいただきました。

## ●十月五日(金)

### 小樽幼稚園百周年記念式典

午前十一時半より、幼稚園園舎において、保育連盟の大谷範子総裁様ご臨席のもと、百三十人の園児および来賓・教諭・保護者ら二百六十人が参集し、小樽幼稚園創立百周年記念式典が執り行われ

ました。式典では、園児による献灯・献華・献香の後、園児全員でおつとめをしました。

その後、総裁様への花束贈呈、園長(大嶋輪番)の挨拶があり、園歌の斉唱、年長組によるミュージックケルの演奏がありました。

続く総裁様のお言葉では、子どもたちに対して「親鸞様は阿弥陀如来様というお名前のみ仏様が、いつでも、どこでも私達を見ていてくださると教えてくださいます。皆さんが嬉しい時、阿弥陀様も一緒に喜んでくださいます。皆さんが悲しい時、み仏様も一緒に涙をこぼされます。み仏様と一緒に涙をこぼされ、有り難うの気持ちで過ごしてください。」とお話されました。



百周年記念写真



祝賀会（二胡演奏での合唱）



別院境内



祝賀会（花束贈呈）



幼稚園 園舎



仏婦（音楽法要）



祝賀会（杉本実行委員長挨拶）



仏婦（音楽法要コーラス）





総裁様お見送り



仏婦（総裁様お言葉）



幼稚園（総裁様お焼香）



幼稚園（園長挨拶）



幼稚園（総裁様お言葉）

## 掲示・販売のお知らせ

本堂にて100周年記念写真を  
掲示・販売しております。

お申込期限：1月16日まで



幼稚園（佐々木父母の会会長謝辞）

# 報恩講

# フォトグラフィ

## ◎小樽別院 十月十二日（金）～十六日（火）

百周年から引き続きお手伝いに当たってくださった婦人会・  
 仏士の皆様、ご参拝の皆様、ありがとうございます。



双葉参拝



三園参拝



御伝鈔拝読



報恩講布教



仏士・仏婦報恩講（献華・献灯）



輪番挨拶

## ◎新光説教所（法友会）

十月二十六日（金）・二十七日（土）

今年には法友会創立四十周年記念法要と併せての法要になりました。記念に會員さんの集合写真を撮り、ほっと一安心。お供物も料理も会心の出来でした。



初夜法要



お荘厳

## ◎若竹説教所（彰心会）

十一月十八日（日）

報恩講の締めくくりは若竹説教所でした。この日小樽では初雪が降りましたが、多くの参拝者のおかげで会場内は暑いくらいでした。みんなで一緒に正信偈をお勤めさせていただきました。



報恩講法要



輪番法話



控室（保育所の一室）

## ◎奥沢説教所（樹心会・唯信講）

十一月二日（金）・三日（土）

奥沢説教所で樹心会と唯信講合同の報恩講が勤まりました。今年も奥沢地区の方々が始め多くのお参りにぎわいました。主任が変わって初めての報恩講でしたが、お斎の準備・買い出しから会場内外の設営に至るまで講員さんが一生懸命頑張っておかけで一致団結。無事勤めさせていただきました。



お斎の準備



参拝者



奥沢名物のカボチャ



奉讃のタバ支度



ご門徒さん  
を訪ねて

第三回

竹澤印刷株式会社 竹澤 知恭 さん

今回は別院だよりの印刷並びに編集委員をお願いしている竹澤印刷の社長さんにお話しを伺ってきました。



別院だよりの創刊はなんと昭和五十六年。休刊などありましたがその当時から付き合いです。

その当時の思い出を聞きますと、「最初の頃はワラ半紙に印刷した新聞みたいなものだったんですよ。当時は今みたいに一般にパソコンなんか普及してないから大変だったのさ。市販の原稿用紙を切って掲載する文字数とあわせて、当時の輪番さんのところに持って行って原稿を書いたらいいからってらったんだわ、あの頃は輪番さんが一人で企画・



てもらってらったんだわ、あの頃は輪番さんが一人で企画・



校正をして、私は原稿取りに行くだけだったんです」とのこと。

その頃の別院はどうでした？という質問には「当時は私も若かったし、お寺さんはみんな年配の方ばかりだったから仕事で別院に来るのも嫌だったなあ」と正直な意見。

「それでも2年前の父の葬儀の時にお布施を持ってお寺さんの控え室に挨拶に行ったら、堅苦しくてすごく緊張したんだけど、その時なぜか世間話になって。すぐく面食らったんだけど、急に気が楽になって。ぐっと親近感が湧いたのを覚えています。それから別院だよりの編集に携わるようになって

て会議のためにお寺へ来ると、お寺さんがぐっと若くなっててすごく親しみが湧いた。家にお参りに来てくれない、一緒にタバコをのみなから話せるようになったしね。何かきっかけがあれば繋がりは深くなると思う」と話してくださいました。



最後に別院だよりを作っている側から読んでくださっているみなさんへメッセージを。

「文字も大きくなったり、写真が増えたり表紙が変わったり。みなさんの声で別院だよりは変わっています。とりあえず読んでください。わからないことはお寺さんに聞いてください。そうすればお寺の行事は他人事じゃなくなります。」

印刷用のフィルムを作成



①シアン版



②マゼンタ版



①+②



別院だよりが出来あがるまで

④ブラック版



①+②+③



③イエロー版

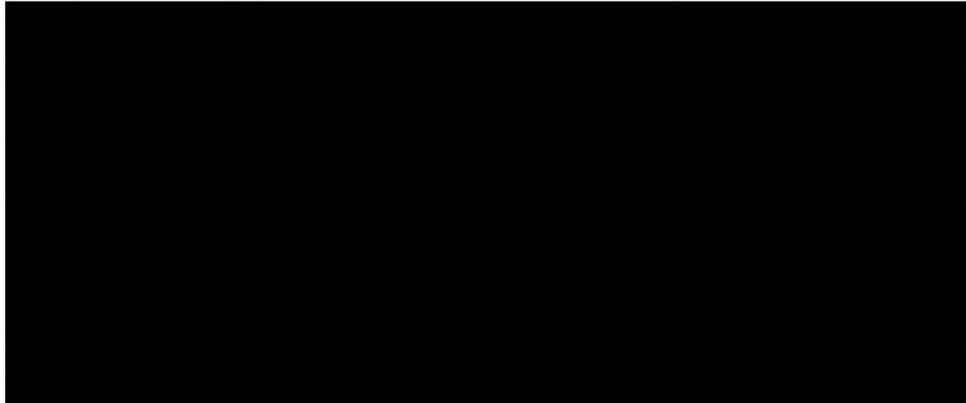


完成!!



別院門徒物故者

（平成十九年八月一日～十月三十一日現在）



以上の別院門徒の方々が、お浄土に還られました。

謹んでお念仏申し上げます。

合掌

本堂懇志新規進納者

（平成十九年十月三十一日まで）

●門徒懇志

- 金四拾三萬円
- 西田 チヨ  
坂爪 昭  
水戸 潔  
瀬戸川 宏  
金四拾萬円
- 山本 雅子  
桑山 善光  
室田 昭  
石田 京子  
山口 京子  
大滝 健一  
野川 潔
- 田上 美枝  
山田千代子  
坂井 利房  
小森 雄三  
佐々木ヒデ  
奥川キミエ  
羽田 正宏  
菅原 光則  
伊東 靖晃  
庭山 藤夫  
白髪 一  
国島 澄子

物品寄贈

報恩講用食器一式

匿名

ご寄贈有難う  
ございました。



3分間の  
心のともしび  
小樽別院  
テレホン法話



24時間  
いつでも  
どうぞ

TEL 27-1616

●テレホン法話担当表

12/ 1(土)～15日(土)	磯村	2/ 1(金)～15日(金)	温川
12/16日～31日(月)	梶	2/16(土)～29日(金)	森
1/ 1(火)～15日(火)	輪番	3/ 1(土)～15日(土)	脇
1/16(水)～31日(木)	村田	3/16(日)～31日(日)	山邊

真心をモットー

安心と信頼 全葬連 if 共済会 『if ネット北海道』

小樽典礼株式会社

0120-27-1801

（携帯電話等からもご利用いただけます。）

小樽典礼斎場

小樽市稲穂3-2-10  
（当社向い 中央バス中央通りバス停そば）  
Tel 0134-22-1801

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り  
TEL (0134) 23-1309 (代)

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。  
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。



みんな

仲良し

# 小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



**総裁様ようこそ**  
(境内にてお出迎え)

10月5日京都より、総裁様をお迎えし、小樽幼稚園創立100周年記念式典をとり行いました。当日は園舎に130人の園児を含む保護者ら260人が集まり、おつとめ、園歌の斉唱、年長組によるミュージックベルの演奏など、みんなで100周年をお祝いしました。

## 園児募集

途中入園可能

募集園児

3歳児 (H16.4.2～H17.4.1生まれ)

4歳児 (H15.4.2～H16.4.1生まれ)

5歳児 (H13.4.2～H15.4.1生まれ)

願書受付

新入園児受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

**小樽幼稚園** TEL FAX **0134-22-6536**